国語（中三）（古典）

使用教材　「夏草―「おくの細道」から」（光村図書　P146　～　P147）

川越市マスコットキャラクター

●教科書「夏草―「おくの細道」から」を読み、あとの問いに答えなさい。
☆がついている問題はチャレンジ問題です。

（1）「過客」（P146 L2）と同じ意味の言葉を、原文中から漢字二字で書き抜きなさい。

（2）「月日は百代の過客にして」（P146 L2）と対句的に表現されているのは、どの部分か。原文中から書き抜きなさい。

☆（3）「古人」（P146 L5）にあたる人物の一人として、次の漢詩「春望」の作者が当てはまる。

国破れて山河在り
城春にして草木深し
時に感じては花にも涙を濺ぎ
別れを恨んでは鳥にも心を驚かす
烽火三月に連なり
家書万金に抵る
白頭掻けば更に短く
渾て簪に勝へざらんと欲す

国破山河在
城春草木深
感時花濺涙
恨別鳥驚心
烽火連三月
家書抵万金
白頭搔更短
渾欲不勝簪

Ⓐそれは誰か。次から選んで答えなさい。

ア　李白　**イ**　杜甫
ウ　西行　**エ**　宗祇

Ⓑこのような漢詩の形式を漢字四字で答えなさい。

Ⓒ戦争はどれくらいの期間続いたとあるか。現代語で答えなさい。

（4）「予」（P146 L6）とは誰のことか。漢字四字で書きなさい。

（5）作者は旅の支度として何をしましたか。現代語で三つ書きなさい。